



2018年5月16日
株式会社 リクルート キャリア

介護人材の採用支援を強化！

「HELPMAN JAPAN」未経験者向け転職支援サービス開始

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林大三）が運営する『HELPMAN JAPAN』は、5月16日に介護未経験者向け転職情報サイト（<https://career.helpmanjapan.com/>）を開設しました。介護サービス業で働く魅力を発信し、興味をもった方には専任アドバイザーが介護未経験者の研修体制などが整った職場を紹介します。

人材不足の解消に、まずは離職を減らす

介護業界は深刻な人材不足に悩まされています。厚生労働省は、2025年には約38万人の需給ギャップが生じると予測しています。この問題を解決するためにHELPMAN JAPANは、介護職員の離職防止の支援に取り組んできました。どれだけ採用数を増やしても、離職数が減らなければ人材不足は解消されないためです。

2010年のサービス開始以来、介護職員の階層別研修を通じて、職員が働きやすい職場作りを支援してきました。これまで242社・502人の介護職員が利用し、定着率は97%を誇ります（2015年度実績）。

離職防止にノウハウ、いよいよ採用へ！

人材が定着する職場作りのノウハウを活かして、HELPMAN JAPANは介護人材の採用支援を強化します。就業者のすそ野を広げることを目的に、介護未経験者を対象とした転職支援サービスを提供します。これまでの研修事業での実績や、介護サービスに従事する1,000人を対象とした仕事満足度調査の結果をもとに、介護初心者が定着・活躍するために重要な「3つのポイント」に積極的に取り組む職場を紹介します。

◆3つのポイント：

- 「介護技術の研修に加えて、キャリアを支援する研修がある」
- 「職場の一体感を高める取り組みがある」
- 「技術を活用して、業務効率化に取り組んでいる」

転職の選択肢のひとつとして、介護で働く魅力を発信

サイトでは実際に介護の現場で働いている方々取材し、仕事風景を紹介しています。また、介護サービスの働き方に関する誤解やあまり知られていない事実をデータで伝えることで、介護業界の将来性や働く魅力を発信します。

サイトは、当社の転職サービス「リクルートエージェント」「リクナビNEXT」のメルマガ等でも紹介。希望者には専任アドバイザーが面談し、職場見学の調整や求人票の紹介が可能です。現在紹介できるのは、首都圏一都三県の施設ですが、今後は全国への展開も視野に入れていきます。



▲サイトのイメージ画面

『HELPMAN JAPAN』とは？

『HELPMAN JAPAN』は介護業界の就業人口を増やすことを目的に、2010年に株式会社リクルートキャリアと株式会社講談社が共同で立ち上げた、日本の介護ビジネスに関わる全ての人を応援するCSRプロジェクトです。介護事業者向けの研修や、介護情報メディアの運営を主に行ってきました。Webサイトでは、最新情報やインノベティブな取り組みをしている方などのインタビューを通じて、介護業界についてのポジティブな情報発信を行っています。

<http://helpmanjapan.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL: 03-3211-7117 Mail: kouho@waku-2.com